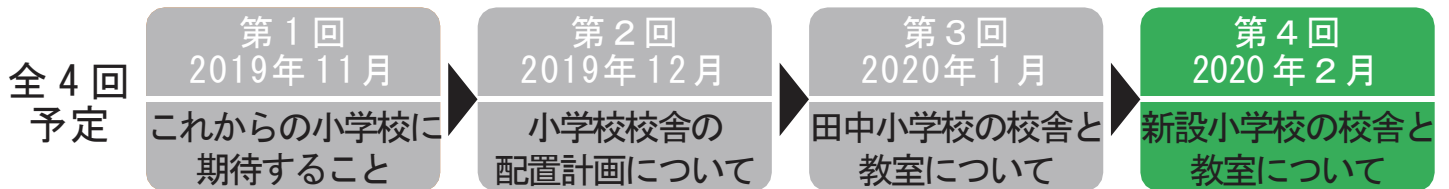


柏市立田中小学校・新設小学校市民ワークショップ 第4回目

- 開催日時 2020年2月2日(日) 午前10:00-午後12:30
- 場所 田中北小学校
- 第4回テーマ 新設小学校の校舎と教室について
グループワーク：新設小の未来の宝「森をつくろう」



柏市立田中小学校校舎建替及び柏北部東地区新設小学校整備を実施する上で、学習環境の多様化への対応、安全性の確保、地域とともにある学校づくりを目指します。

第4回は、新設小の「未来の宝」となる「保存樹林」について、どんな森にしたいか話し合っていたいただき、理想の計画案を作ってください。その中で出された意見を、今後の学校施設づくりに反映していきたいと考えています。

■プログラム

【ワークショップ参加人数：25人】

内容
<p>〈あいさつ、前回の振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者およびファシリテーターのあいさつ ・前回の振り返り及び計画への反映について ・新設小の普通教室の説明 ・新設小の平面計画案の説明 ・ワークショップの説明
<p>〈グループワーク①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように新設小の森を活用していくか ・「誰が」「何をする」→「何が必要か」に沿って考える ・あわせて、森の維持管理についても考える ・模造紙を使用してグループごとに意見をまとめる
<p>〈グループワーク②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の意見をもとに計画案をつくる ・各班ごとにタイトルをつける「○○○の森」
<p>〈発表・意見交換〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換
<p>〈まとめ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターによる今回のまとめ ・アドバイザーによる感想

■新設小の説明

普通教室の説明

「主体的・対話的で深い学び」を実現する、「広い教室」を整備する。
田中小との異なる点や、コンセプトの説明を行った。

異なる点として、収納エリアのつくりであり、整然とした「広い教室」を整備する。



平面計画案の説明



第2回ワークショップで出た意見を踏まえた配置計画の説明を行った。

建物内部の平面計画としては、第1回ワークショップで出た要望を反映させた説明を行い、各班ごとに、「普通教室」「平面計画」について意見を発表し、質疑応答を行った。



■グループワーク・発表・意見交換

Aグループ

グループワーク①：どのように新設小の森を活用していくか
 〃 ②：①の意見をもとに計画案をつくる



テーマ「いこいの森」

- ・虫が集まる木を植える。
- ・アスレチック遊具や池がほしい。
- ・ランニングコースを設置。
- ・地域住民により管理を行い、里山を守る会と連携。
- ・地域開放としてキャンプが可能な広場を設置。

A班

タイトル いこいの森

誰が? 地域の子供
何を? キャンプ
必要なものは? 広場

誰が? 児童・地域住民
何を? レク・散歩
必要なものは? 遊歩道

定期的な
地域住民
でキャンプ

里山を守る会
等との連携

手洗い場
があると良い

見通しを
よくする

落ち葉の掃除
草木のメンテナンス

森の管理
下草刈り 倒木
対策
費用 管理(人)

ランニングコース

誰が? 地域の方
何を? オトキの森
必要なものは? 木・イス
ハンモック

誰が? 生徒
何を? マラソン
必要なものは? コンクリート遊歩道

誰が? 生徒
何を? 運動
必要なものは? 遊具(おたくははじい
ちの)

誰が? 子ども
何を? 遊べる
必要なものは? 木の遊具
ザリガニや小魚が泳げる池

誰が? 子ども
何を? 遊ぶ(40分間)
必要なものは? 砂盤

誰が? 児童
何を? 生活科理科の
観察
必要なものは? 植木に必要の植物
を植える

誰が? 子ども
何を? 遊ぶ
必要なものは? 大きな木
大きな草

誰が? 子供
何を? 虫とり(97人虫)
必要なものは? 虫かご、はさみ

縮尺 1:200

■グループワーク・発表・意見交換

Bグループ

グループワーク①：どのように新設小の森を活用していくか

〃 ②：①の意見をもとに計画案をつくる

テーマ「**学びといこいの森**」

- ・ アスレチック、東屋、ベンチ等設け地域の方も利用できる憩いの場
- ・ 畑や虫が集まる木、紅葉する木を植え、学びや遊びで使いたい。
- ・ 校庭とは別に走ることができるスペースを配置。



■グループワーク・発表・意見交換

Cグループ

グループワーク①：どのように新設小の森を活用していくか

〃 ②：①の意見をもとに計画案をつくる



テーマ「安全と自然を考える森」

- ・人の手を加えない、ありのままの自然体験ができる森。
- ・誰が管理を行うかで、安全面の配慮が変わる。
- ・学校側やボランティアでの管理では限界があり管理方法の検討が必要である。

C班

タイトル 安全と自然を考える木々

地域で管理は絶対ムリだ

学校管理は限界(不可能)

安全管理は外部に

学校施設について
もど話し!!

プレーパークとして活用でき?

みどりちゃん事件のふにばらばら!!
そらに

木林が1m高い

職員室からの見通し

自然の森を
残してほしい!

安全を確保してほしい

木々を残す事が
大七刀

野うさぎ
クラス
1ラねこ
ハト

自然の事を
おしえられる人
自然のキケンさ
矢口でいふが必須

自然の森

生きた木を
育てる

防犯カメラ

縮尺 1:200

- 10m以上の樹木
- 20m以上の樹木
- それ以外の樹木

■グループワーク・発表・意見交換

Dグループ

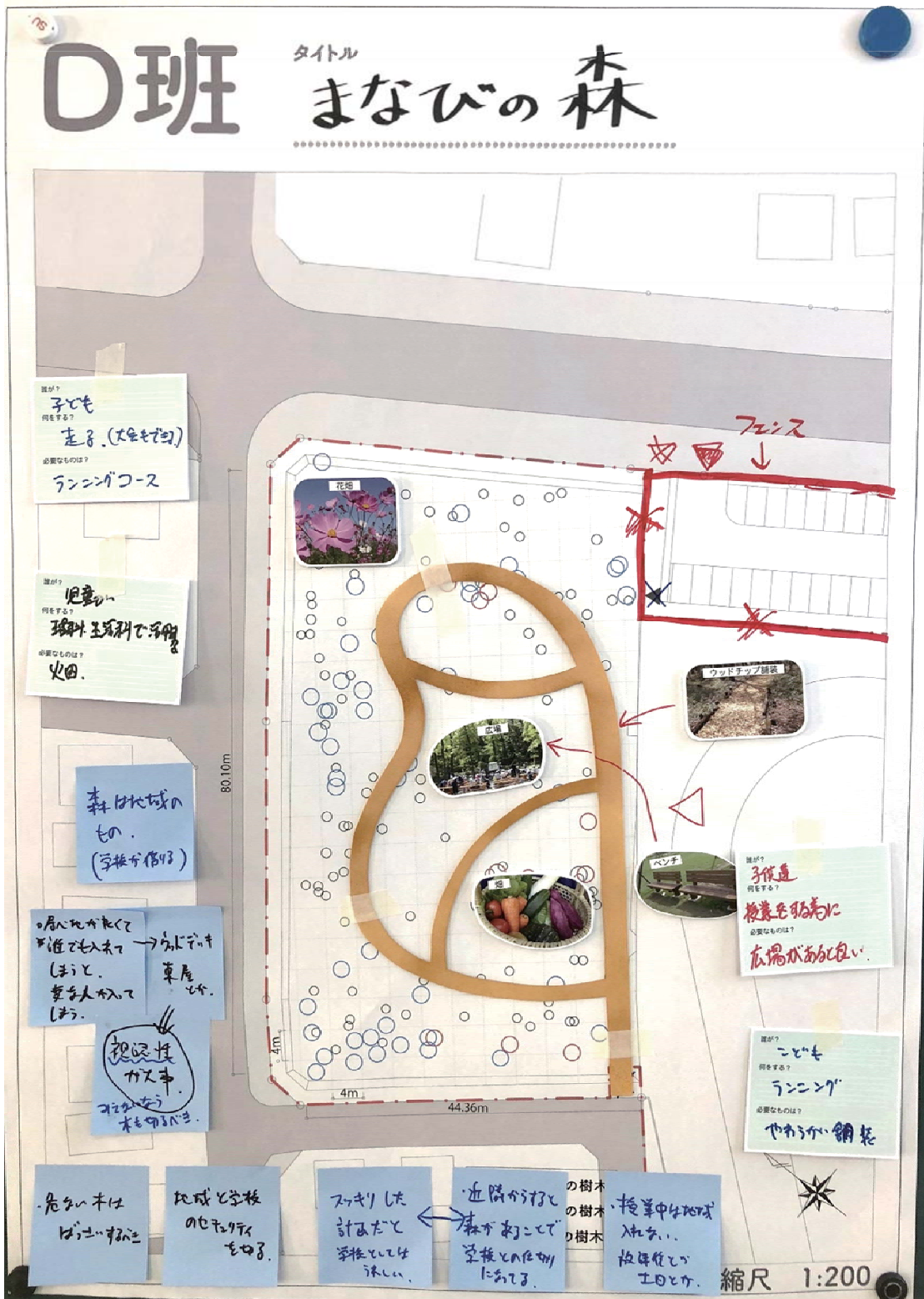
グループワーク①：どのように新設小の森を活用していくか

〃 ②：①の意見をもとに計画案をつくる



テーマ「まなびの森」

- ・学校の一部として運営。
- ・管理しやすいよう下草はカット。
- ・遊歩道は広く、ウッドチップ採用
- ・地域開放は、学校授業中はNG。
校庭開放と同じく土日や夕方推奨
- ・授業として利用可能なお花畑、畑広場等を配置。



■グループワーク・発表・意見交換

Eグループ

グループワーク①：どのように新設小の森を活用していくか

〃 ②：①の意見をもとに計画案をつくる



テーマ「やすらぎのもり」

- ・遊歩道は広く、土路面採用。
- ・遊歩道の曲がり角やコーナーに果実の木を植えたりワクワクする仕組みをつくる。
- ・セキュリティの面により入口は限定する。
- ・地域開放は、学校が休日の土日。

E班

タイトル やすらぎのもり



■まとめ

ファシリテーターによる今回のまとめ

各班それぞれの思いがあり、様々な意見を頂いた。

既存樹木については、基本残していく方向ではあるが、管理上での視認性や安全性を考慮する必要や、ありのままの自然として残す意見等あり、今後検討していく。

地域利用は、学校が使っていない土日利用という点を踏まえ、平日は学校のため、休日は地域のため等考えられる。



各班ごとに、タイトルテーマをつけて頂いた。様々な思いを踏まえ、これから検討材料として考えていく。



アドバイザーによる感想

森については、管理や安全など重要な課題があがり、課題をどのように解決していくか、市・学校・地域と課題を共有できたことが良い点であった。

学校の配置や平面計画について

- ・「学校の顔」をどうつくるか
- ・「学級教室」の向きや校庭との関係
- ・「正方形」に近いグラウンド計画
- ・学級数に対しての「特別教室」数など、検討確認が必要と考えられる。



全4回にわたり開催されたワークショップ。今後どのようにまとまるか、みなさまと一緒に見守っていきたい。

